

高岩山山頂からの眺め

ここは高岩山（881 m）山頂で、雲仙の山々の最南にある。30 万～ 15 万年前の火山噴火により作られた。

山頂直前の九州自然歩道へと続く道は、緑が開け、絹笠山(870 m)、矢岳(970 m)、妙見岳(1,333 m)などの雲仙温泉近辺の眺めがあり、普賢岳(1,359 m)と平成新山(1,486 m)までもが少し見える。

ここにある神社は保食神に捧げるもので、南東に住む農民たちに崇められていることが神社の向きからわかる。地元の農民を手伝い、山に座ってのんびりしていたと言われて、民話の大男、みそ五郎の小さな像が側に座っている。